

防犯 やまぐち

平成 27 年 1 月 NO.126



初日の出（防府市富海）

Contents

新春を迎えて

- 年頭にあって
- 中学生防犯作文の紹介(平成26年)
「中学生防犯作文」優秀賞
- 各署の地域安全運動です
- 防犯ボランティア団体(活動)の紹介



防犯マスコット「CPくん」

発行 公益社団法人 山口県防犯連合会
山口県風俗環境浄化協会

〒753-0072
山口市大手町2番40号 山口県警察本部別館
TEL.083(925)0542 FAX.083(925)0543
<http://www11.ocn.ne.jp/~y-bouren/>
E-mail: bouhan-yamaguchi@seagreen.ocn.ne.jp



新春を迎えて

(公社) 山口県防犯連合会会長
山口県知事 村岡嗣政

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

県民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から当連合会の運営に格別のご理解とご協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。また、正会員、賛助会員、防犯ボランティアの皆様には、それぞれの地域、職域において「犯罪のない安全で安心なまちづくり」にご尽力をいただいております、深く感謝申し上げます。

さて、本県の犯罪情勢であります、刑法犯認知件数は平成15年以降、着実に減少しております。その一方、振り込め詐欺などの特殊詐欺は、昨年9月の時点で被害額が3億7千万円を超え、過去最多であった一昨年の年間被害額を既に超えてしまうなど、高齢者や女性を対象とする犯罪が多発しており、予断を許さない状況が続いております。

犯罪のない安全で安心な社会の実現は、県民の皆様すべての願いであります。県民の皆様「山口県に生まれてよかった」と思っただけ『活力みなぎる山口県』の実現を目指す私にとっても欠かすことの出来ない重要な課題です。

このため、県では、「犯罪のない安全で安心なまちづくり実行計画」に基づき、防犯ボランティアの皆様方や市町、関係団体等と連携して取組みを強化しているところです。

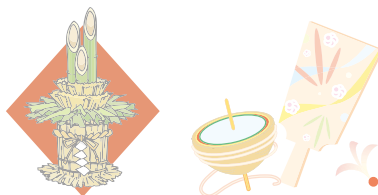
現在では、県下の防犯ボランティアは、436団体、約2万9千840人までに拡がり、子どもの見守り活動、青色防犯パトロール、大学生による防犯パトロールなどが活発に行われ、安全、安心の輪は着実に広がっています。

本年7～8月には、第23回世界スカウトジャンボリー、10月には、第28回全国健康福祉祭やまぐち大会(ねんりんピックおいでませ！山口2015)が開催されますので、本年も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の今後ますますのご健勝とご多幸をお祈りするとともに、「犯罪のないまちづくり」が県民運動として大きな成果を上げ、「活力みなぎる山口県」の実現につながることを念願してご挨拶いたします。



年頭にあたって



山口県警察本部長
藤村 博之

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年中、山口県警察では、犯罪の起きにくい社会の実現を目指し、県民の皆様方の幅広い御理解と御協力をいただきながら、県民生活に不安感を与える侵入犯罪、子供・女性・高齢者を対象とした犯罪、振り込め詐欺等特殊詐欺の未然防止などを重点に掲げ、「犯罪抑止総合対策」に取り組みました。

その結果、刑法犯認知件数は、戦後最少を記録した昨年を更に下回り、平成15年から12年連続で減少させることができました。

これもひとえに、防犯ボランティア団体を始めとする地域の皆様方と自治体、警察等の関係機関が連携し、官民一体となった取組の結果であり、各地域における自主防犯活動に御尽力いただいております皆様方の御労苦に対しまして、心より感謝と敬意を表する次第です。

その一方、昨年県内では、強盗事件等の凶悪事件が各地で発生したほか、子供・女性が被害者となる犯罪が後を絶たず、さらには、振り込め詐欺等特殊詐欺については、被害総額が過去最悪を更新するなど、県民の皆様方が真に安心を感じる情勢には道半ばであり、本年も厳しい治安情勢が続くものと思われます。

このため、山口県警察では、本年も、安全で、安心して生活できる社会を目指し、皆様方とより一層の連携、協働の下、地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策を推進することとしております。

山口県警察職員一同、全力を尽くしてまいりますので、御支援、御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、山口県防犯連合会のますますの御発展と皆様方の御清勝と御多幸を祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

(公社) 山口県防犯連合会 「未年の活動重点」

山口県防犯連合会が公益社団法人へ移行して、もうすぐ3年になろうとしています。公益法人に移行後は、以前にも増して防犯運動推進事業等公益事業中心の活動をしており、また、山口県風俗環境浄化協会として風俗環境浄化事業も推進しています。

本年も警察、行政、関係機関・団体の皆様と連携し、「みんなでつくろう安心やまぐち」を合い言葉に、業務を推進いたします。重点は次のとおりです。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

※ 地域安全安心活動の推進

- 見守り活動、防犯パトロールの推進
- 防犯ボランティア活動の推進

※ 犯罪予防活動の推進

- 街頭犯罪・侵入犯罪防止活動の推進
- 子ども・女性対象犯罪防止活動の推進
- 生活安全情報の積極的な提供

※ 高齢者保護活動の推進

- 振り込め詐欺等特殊詐欺からの被害防止
- 戸別訪問、会合等を通じた各種犯罪防止

※ 少年の非行防止と健全育成活動の推進

- 非行防止ボランティア活動の推進
- 少年のスポーツ活動・社会参加活動の推進

※ 犯罪を寄せ付けないまちづくり

- 万引き、自転車盗の起きにくい環境づくり
- 薬物乱用のないまちづくり
- 風俗環境浄化活動、暴力排除活動の推進

※ その他

- 防犯功労者等の表彰
- 優良防犯資器材等の普及と利用の推進

中学生防犯作文の紹介 私たちにできること

平生町立平生中学校
3年 三村 真海

犯罪。これは、この世の中にあってはならないものです。しかし、あってしまっているのが現状です。犯罪には、さまざまな種類があります。例えば殺人、暴行、窃盗、詐欺、恐喝など、数えきれないほどの罪が挙げられます。その中で、私は殺人罪に注目してみました。

殺人罪とは、人を殺すことを内容とする犯罪のことをいいます。私は、この殺人罪が犯罪の中で最も悪質な罪だと思います。人を殺すことは、その人の将来を一瞬にして消しえることに等しいからです。

現在、日本ではたくさんの殺人事件がおこっています。最近だと、ある女子高生が同級生を殺害したという事件が連日の様に報道され、問題になっています。加害者の女子高生は、事件について「人を殺してみたかった。」「解剖してみたかった。」と、供述しています。私は、このニュースを見たとき、自分の目と耳を疑いました。特に問題ない仲の良い友達を自分の興味だけで殺すなんて、信じられませんでした。ですが、これが今の日本の現状なのです。

このような事件を防止するために、私たちにできることはないでしょうか。

私が提案したいのは、人とコミュニケーションをとることです。日常生活の中で、人とコミュニケーションができるのは大きく分けて、地域、学校、家庭の三か所だと思います。

まずは、地域について考えてみましょう。地域の方々との主なコミュニケーションといえば、あいさつだと思います。あいさつには、人をすがすがしい気分させる効果があると思います。あいさつをされて嫌な気分になる人はおそらくいないでしょう。地域の方々といさつをかわすことで、どんよりしていた気持ちが晴れて物事への見方や考え方が変わるかもしれません。また、地域の方々は、私たち学生のちょっとした違いに気付くことができるのではないのでしょうか。

次は、学校での過ごし方についてです。学校には、友達や先生など相談相手がたくさんいます。ほぼ毎日一緒にいる中の良い友達だと、地域の方々以上にちょっとした気持ちや表情の変化に気付いてくれるはずです。同世代の子だと、考え方が似ている人も少なくないと思います。学校という集団の中で、お互いがお互いに意識しつつ、何か変化があるなど感じたら少しでも話を聞くことで、一人で抱え込んでいた悩みや問題がすっきりすると思います。

また、学校でよくあるのがいじめです。いじめも立派な犯罪だと思います。遊び半分で始めても、それがすすむといつしかその子を死に追いつめることになるかもしれません。いじめを目のあたりにしたら、見て見ぬふりをするのではなく、間違っていることははっきり間違っていると教えてあげるのが一番だと思います。いろいろな人と上手にコミュニケーションをとりながら、人間関係をうまくつくっていくのもいい事だと思います。小さなことでも、防犯につながると思います。

最後は、家庭内のことについてです。家庭内には、私たちに一番近い存在である家族がいます。私たちのことを一番理解しているのも家族です。家族はいつでも私たちの味方でいてくれます。そんな家族は、私たちにとって絶対的な存在です。毎日一つ屋根の下で生活しているなら、ちょっとした会話でも私たちの変化に気づいてくれるかもしれません。態度や行動の一つでも、あれ、何かおかしいな、いつもと違うな…と違和感を感じたりするものだと思います。

でも、私たちの年令では、友達には悩みの相談をしたりできるのに親や兄弟にはそれが言えない事もあります。むしろ、その方が多いかもしれません。でも、自分自身どうしようもなくなったり、身動きがとれなくなってしまう時、最後のとりでのように頼ってしまうのが親であり、兄弟であり、まさに家族なのです。自分一人でも何でもできる気になっていても、やはり家族の愛に見守られながら、日々私たちは生活しているのだと思います。

地域の方々に見守られ、学校で先生方や友達と信頼関係を築き、そして温かい家庭があれば、殺人に関わる様な犯罪を犯すことなどないのではないのでしょうか。

人とコミュニケーションをとることは、世の中の防犯にもつながるのだと思います。毎日の生活の中で、少し意識を変えただけで犯罪が減ると考えてみると、私たちにもできることがあるのです。そのできることを私がまず実践していき、殺人事件等のニュースを見ることの無い世界に近づいていけたらと思いました。

「中学生防犯作文」優秀賞

平成26年度中国管区内「中学生防犯作文コンクール」には、1866編(うち山口県内47校、525編)の応募がありました。

審査の結果、県内からは

中国防犯連合会連絡協議会優秀賞 3編
が選ばれました。同時に

山口県防犯連合会優秀賞 10編
を選び、ともに表彰状と副賞を贈りました。

中防連優秀賞の受賞者は、次のとおりです。

題 名	学校・学年・氏名
私たちにできること	平生町立平生中学校3年 三村 真海
つながり	光市立浅江中学校2年 吉永 美月
これからの日本のために	下関市立玄洋中学校2年 和田 佳乃

県防連優秀賞の受賞者は、次のとおりです。

題 名	学校・学年・氏名
人を大切に	岩国市立川下中学校1年 藤田 琉斗
地域のつながり	柳井市立柳井中学校2年 新井 友理
ボタン一つで迫る危険性	下松市立末武中学校2年 渡部 佑菜
私にできること	周南市立太華中学校2年 安富雪花流
犯罪のない日を目指して	山口市立徳地中学校3年 福田 佳穂
私の思う事	宇部市立藤山中学校2年 田中 亜依
現代の社会と身近な地域	山陽小野田市立厚狭中学校1年 中富梨里華
たった一つの思い込みで	萩市立萩東中学校2年 末武 美紅
犯罪を防ぐために	萩市立萩東中学校3年 松田 若菜
自分のため、世界のため	下関市立菊川中学校3年 竹村 優華

各署の地域安全運動です

平成26年「全国地域安全運動」が、10月11日から10日間実施されました。県内では、山陽小野田文化会館で「犯罪のないまちづくり県民大会」が開催された他、県内各地域で多彩な活動が展開されました。各署の主な行事を紹介します。

皆様のご協力ありがとうございました。



100歳スイマーによる防犯広報
(柳井)



振り込め詐欺防止キャンペーン
(光)



小学校での不審者対応避難訓練
(岩国)



安全安心まちづくり推進大会
(下松)



安全・安心フェスタ in 周南
(周南)



特殊詐欺被害防止キャンペーン
(防府)



一日署長委嘱、青パト隊出発式
(山口)



自転車盗被害防止広報
(山口南)



こども防犯キャンペーン in 宇部
(宇部)



振り込め詐欺被害防止広報
(山陽小野田)



振り込め詐欺防止キャンペーン
(小串)



福祉の市における防犯広報
(美祿)



防犯連絡所指導員との安全点検
(長門)



県境2署合同防犯キャンペーン
(萩)



自転車盗防止キャンペーン
(下関)



金融機関における強盗対応訓練
(長府)

防犯ボランティア団体の活動紹介

内日 子ども見守り隊

長府地区

内日地区は、春には水田に苗が植えられて見渡す限りの緑に囲まれ、秋には黄金色の稲穂が揺れる美しい地域です。児童生徒数は少ないのですが、地域の人々に支えられたすばらしい教育環境を誇っています。しかし、近年は県道の交通量も増加し、事故や車上荒らし等の犯罪も発生しています。このような中、東日本大震災は危機への備えの大切さを教えてくれました。平成23年6月、地域の有志が集まり「登下校の安全指導、見守り活動を無理のない範囲で、継続的、効率的に行おう」

と見守り隊が発足しました。会員数は現在24名、地域に8つのポイントを設けて、朝夕の立哨活動を行っています。中には朝の散歩を兼ね、孫のような子どもたちと一緒に学校まで歩かれる方もいます。車には作成した見守り隊のステッカーを貼っています。これは有志の方々にも活用をお願いしています。自家用車や軽トラに貼ることで、ふるさと内日を見守っているという意識が一段と高まったように感じます。



松崎 こどもを守る会

防府地区



松崎地区は、防府市内の中心市街地にあり、人通りや車の交通量が多いところ。そこで、平成18年、子どもたちの安全・安心の確保を目的に、地区の青少協・民生委員・自治会・老人クラブなど各団体が集まって松崎こどもを守る会が結成されました。主な活動は、子どもたちの登下校時の立哨活動です。月に一度の一齐下校のときは、それぞれの地区に分れ、子どもたちの下校に同行しています。会員の皆さんには、出かける時には守る会の

ジャンパーや帽子を着用し、声かけをするようにお願いをしています。そうすることにより事故や犯罪の抑止に繋がると同時に、安全に対する住民意識も高まると考えています。

また、三世代交流事業などの地域の行事や持久走大会、放課後子ども教室など学校行事に参加することでも、子どもたちとの交流を深めています。

今後とも関係団体のご協力を頂きながら、地域の子どもは地域で守り、育んでいこうと思っています。

安全にここに隊 山陽小野田地区

「安全にここに隊」の発足は、平成18年3月です。平成13年に大阪教育大学付属池田小学校に凶器を持った男が侵入し、児童8名が殺害され、多くの児童、教諭が負傷した事件が発生しました。その後も全国的に児童が襲われる事件が続く、県内でも児童を対象とする声かけ事案等の発生が続いたことから、小野田校区児童安全対策協議会が結成され、児童の見守り活動を行うことになりました。見守り隊のネーミングを考えるにあたっては、小学校児童や各

団体の関係者から募集を行いました。「竜王隊」「ドラゴンスター」「お守りレンジャー」「見守り新撰組」他多くの案が出ましたが、多くの表決を得た「安全にここに隊」に決定しました。現在行っている活動は、児童の登下校時の見守り、児童に対する挨拶と話しかけ、不審者を見た時の連絡、危険な場所の報告等です。このほか定期的に意見交換会を開催し、関係の機関に情報を提供しています。これからも児童の安全のため、力を発揮していきます。



防犯ボランティア地域交流会（下関大会）の開催

当連合会では、山口県警察の後援、(公財)日工組社会安全財団の助成を得て、11月4日、下関市民会館において下関市内（下関、長府、小串警察署管内）の防犯ボランティアを集め、研修会を開催しました。研修会には、防犯ボランティア21団体、121名をはじめ、警察、市の関係者等総勢139名が参加しました。開催地の下関警察署長の挨拶の後、山口県警察本部の竹内照勝犯罪抑止対策室長が「最近の犯罪情勢について」と題した講座を開きました。続いて比治山大学の上之園公子教授が「子どもとともに『安心』をつくる～キーワードは『守る』『育てる』～」と題して講演を行いました。その後、下関警察署員による「振り込め詐欺被害防止の寸劇」が行われました。体験発表では、5団体がパワーポイント等を使ってそれぞれの警察署管内で行っている活動について発表し、情報の共有化を図りました。参加者からは、「犯罪情勢や安全安心なまちづくり」のノウハウを学ぶことが出来て大変参考になった。」また、「他団体の活動状況を聞いて、今後の活動に目標が出来た。」等の大きな反響があり、開催目的を達成することが出来ました。



大変だ！でもあせらずに 110 番 ～1月10日は「110番の日」～

110 番のしくみ

あなたからの110番は、山口市の県警察本部通信指令室にかかります。担当の警察官が「事件」か「事故」か、「発生時間」や「発生場所」といった事項をお尋ねしますので、あせらずに落ち着いて教えてください。あなたと話をしている間にも他の通信指令室員がその内容をモニターして、発生場所に最も近いパトカーを急行させます。

110 番通報6つのポイント

● 何があったか

どろぼう、強盗、交通事故



● どこで（場所）

住所、目標となる建物、交差点



● いつごろ

たった今とか、5分前とか、大体の時間を



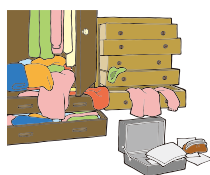
● 犯人の特徴は

性別、人相、服装、逃げた方向



● 今、どうなっているか

事件、事故の様子は



● あなたの住所、お名前は



警察からのお願い

○ 通報場所は正確に

110番通報の際は、目の前に見える建物やバス停、橋など目標となる物を教えてください。警察官を派遣するために最も大切なことは、通報されたあなたのいる場所を正しく特定することです。

○ いたずら110番禁止

いたずら110番や、ウソの通報は、法律に触れるだけでなく、真に助けが必要な方への対応ができなくなります。いたずら110番は絶対にやめましょう。

○ 急がない用件は総合相談電話

110番は、急いで警察官を現場に派遣するための緊急電話です。警察に対する相談や問い合わせ、苦情など緊急でないものは総合相談電話（#9110）に連絡してください。緊急でない相談などで110番回線が塞がっていると、本当に急ぐ事件や事故の届出を受けることができなくなります。